

令和4年5月24日  
デイサービスセンターくえすと南安倍  
株式会社 Clife  
代表取締役 平野陽介  
管理者 由良尚美

デイサービスセンターくえすと南安倍 運営推進会議 運営報告

新型コロナウイルス感染症に配慮し、令和4年5月の運営推進会議開催を見送り、以下の通り報告をさせていただきます。

今回は開所後初の運営推進会議のご報告となりますので、特に細かく記載しております。ご賢察頂き、ご一読頂ければ幸いです。

議事

- 1, 利用状況
- 2, 職員の状況
- 3, 活動状況
- 4, デイの概要説明
- 5, 内部研修

1, 利用状況（令和4年4月30日現在）

	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5
人数	9名	10名	7名	1名	3名

男性：22名

女性：10名

ご利用者様の傾向

- ◎大人数がもともと苦手という方やコロナ感染症が怖いといった事で少人数デイがいいとご希望がありました。
- ◎認知症、脳血管障害による後遺症（片麻痺）、神経難病（パーキンソン病）の方が多く、女性より男性の方が多くいらしています。
- ◎入浴トリハビリの希望の方がいらしています。
- ◎全員で一緒に事をするのが苦手といったニーズもありました。

## 2、職員の状況

理学療法士：2名 看護師：2名  
介護福祉士：5名 介護職：1名

## 3、活動状況

令和3年10月15日 開所（月曜～土曜 営業、各曜日定員10名）

ホームページ開設

<https://www.create-life.jp/>

インスタグラム開設

[https://www.instagram.com/quest\\_dayservice/](https://www.instagram.com/quest_dayservice/)

事業所での取り組みを発信しています。

令和4年3月5日 利用希望者増の為、土曜日の定員を15名へ変更

4月4日 利用希望者増の為、月曜日の定員を15名へ変更

今後の活動予定

家族会の実施、IT ツールを用いた情報共有・発信、イベント

### ◎コロナウイルス感染予防対策

マスク着用、手指消毒、施設内・送迎車両消毒・換気を徹底しました。施設内ではCO2センサーを設置し、CO2の濃度を喚起の目安として注意しておりました。

また、ご利用者様には、ご利用にあたっての注意事項として、ご利用日自宅での体温測定と体調不良時（本人・家族）のご利用控えをお願いしました。

冬季は換気と室内の温度設定に苦慮しましたが、暖房を追加し対策しました。

これまでご利用者様で罹患された方はいらっしゃいません。ただし、他デイにて濃厚接触者及び他デイで利用日に感染者がいた事でご利用を自粛される方はありました。

活動は個別もしくは少人数の複数グループでの活動としておりました。

## 4、デイの概要説明

ご利用時間（9：00～16：05）

午前 リハビリ・入浴・脳トレ

昼食 お弁当を外部に委託しております。高たんぱくな食事にしており、運動と栄養のバランスを図っております。カロリー制限食などの食事対応もしております。

午後 リハビリ・入浴・作業活動

（ご利用者様の状況に対応するため、一部時間変更の対応もしています。）

## リハビリ

理学療法士が個々にメニューを作成し、自分で行える方は自己管理にて取り組まれています。

自己管理の難しい方については、こちらでお誘いするようにしております。

要介護5の方で普段車いすを使用している方がリハビリを頑張られ、現在一部歩行器での歩行が可能となりました。次の目標は東京の孫の家に行くための階段を登ると更に頑張って取り組んでおられます。

## 脳トレ

既存の脳トレ用のプリントでの机上活動もありますが、木製の知恵の輪やジェンガ、オセロ・囲碁・将棋といったテーブルゲームにも取り組んでいます。ご利用者様同士の繋がりが出来ています。

## 作業活動

おやつ作り、木工作业、季節の飾り作り、植木作業、七宝焼き、そのほかご利用者様が以前に趣味で行われていたけれど、出来なくなってしまった。といった方が多くおられ、道具を持参され、こちらで再開しております。

木工作业や七宝焼きはご利用者様のおかげで順調に作品作りが進んでいます。

塗り絵や絵を書く事が好きな方は、集中して取り組まれており、施設内に飾らせて頂いています。

## 入浴

個浴が2槽あります。広さ・物は一緒ですが、手すりや洗面が左右逆の作りになっています。ご利用者様の使いやすい手足に応じて使い分けています。

お一人ずつ入浴して頂いています。車いすの方でも、手すり把持にて立位が取れば入浴されております。

## 5. 内部研修

各回担当者を決めて、資料作成から発表まで行っています。

専門職種により特異な分野や気になる事などが異なる為、それぞれの知識の共有や深堀ができています。今後も、広く深く研修を続けていく予定です。

◎R4.1.21 介護保険法の理解

◎R4.2.24 リハビリテーション

◎R4.4.7 スピーチロックについて

◎R4.5.5 急変時の標準対応